

# 校長室通信

平成24年度 第16号

下野市立南河内第二中学校

発行者 横島 清

H24. 10. 16

## 1 平成24年度の後期がスタート

### 後期始業式の話

平成24年度、後期始業式にあたり、心構えをいくつか話します。

これからの半年間は、前期の成果と反省をもとにさらなる改善の努力をして、1年間の総括をする時期です。終業式には、通知票が渡され家族の方と共に前期を振り返ってみたことと思います。その中で確認された学習と生活面での、しっかり取り組めて良かった点、努力が不足していたり取り組めなかった点など、個人の課題として活かしてください。

さて、3年生は、進路選択の時期となってきました。個人で選択した様々な学校を受験するわけですが、そのためにどう取り組めるかは、一緒に生活する学級の雰囲気が大きく関わってきます。そういう意味では、入学試験は団体戦と言えます。ですから、一人一人が今まで通り学級のために役割を果たし、学級のみんなが過ごしやすい環境にしていけることが大切です。そのことが、充実感ややる気につながって一人じゃない一体感を持って必ず乗り切れます。何か事を為すときは、一人になってはいけません。みなで乗り切りましょう。↗

2年生・1年生。学生の本分は、勉強して学力をつけることです。まだ2年生だから、1年生だからといっている間にすぐ3年生の今が来てしまいます。那須山（茶臼岳）に登ったように一步一步の確実な歩みによって頂上に立てるのです。何事もやらなければ、取り組まなければ達成はありません。授業にしっかり取り組むことと予習・復習を欠かさずやるのが学力をつける早道です。また、先日の新人大会はご苦労様でした。試合は、相手があることですので思い通りの結果を得た部は少ないと思います。これから3月までの過ごし方が大切になります。まず、目標を高く持ち、その部活動に必要な基礎体力と技能を後期の6ヶ月間で十分に身に付けることが大切です。そうすることにより良い結果を得た部はより強くなれるし、残念だった部は相手に追いつき追い越すことが可能となります。諦めないことと自分たちを信じて努力を続けることが大切です。↙

次に、学校全体では、生徒会を中心にあらゆる活動で日本一を目指す気概をもつことが大切です。目前に二中祭が迫ってきました。自分たちの企画による自分達の手作りの二中祭を成功させようではありませんか。そのために、先生方やPTAの方々が応援します。そして、学校を訪れる地域の方々と交流できるようにしましょう。結びに先生がお願いしたいことは、そういう忙しい中であってもやるべきことはきちんとやる二中生であって欲しいと願います。

常に心掛けて欲しいこと

- ①授業と家庭学習を大切にする。
- ②心と心のつながりを感じる笑顔あふれる「爽やかなあいさつ」を行う。
- ③自分達が過ごしやすく、来校者が認めるきれいな学校にする。
- ④思いやりのある温かい学級や集団をつくる。



## 2 教育実習生から

向山澄 教育実習生 社会 1年1組担当

10月9日から27日まで、教育実習生としてお世話になる向山澄です。白鷗大学教育学部3年生です。専門は心理学を学んでいます。所属学級は1-1で社会科を担当します。よろしくお願ひします。私の出身は山梨県のため、第二中は母校ではありません。ですから、この学校に対する知識は、非常に未熟で実習が近づいてくるにつれ、不安になっていきました。ですが、いざ現場に入ってみると生徒達の温かさにとっても励まされました。私も、生徒を明るくする教師になるよう頑張ります。

関谷龍一 教育実習生 音楽 1年3組担当

この度、10月9日から22日までの2週間お世話になります関谷龍一です。宇都宮大学教育学部で音楽を専攻しています。この南河内第二中学校の生徒の皆さんの第一印象は、「礼儀正しい」です。自ら進んで先生方や自分に挨拶する姿を見て、自分も負けていられないなと感じました。10月27日には、二中祭で合唱コンクールがあり、生徒みんなが一生懸命練習している姿を目にします。音楽の授業の中で、少しでもクラス合唱の力になり、音楽に親しみを感じてもらえるよう精一杯頑張ります。

### 3 脳卒中啓発プロジェクト開催

10月10日(水)に、1年生を対象の脳卒中啓発プロジェクトが開催されました。栃木県の脳卒中発症率がほぼ毎年全国ワースト5に入っていることなど、ストップ・ザ・脳卒中は、栃木県の長年にわたる課題となっています。専門的見地から中学生に授業をしていただくことにより、健康に関する知識を深め、脳卒中への正しい理解をするとともに、自分の周囲の方がもしかかってしまったときの対処法を学びました。

出前授業の講師を務められた岡村智教先生は、慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室で教授として研究及び教鞭を執られています。また、お忙しい中にもかかわらずNHK教育テレビの、「名医にQ」や「今日の健康」などにご出演されるなどご活躍中です。

また、身近な人への対処として、次の4項目の頭文字をとったFASTが大切なことを学びました。



アンケートに真剣に答える生徒達

|      |      |     |      |        |       |      |      |
|------|------|-----|------|--------|-------|------|------|
| Face | 顔の麻痺 | Arm | 腕の麻痺 | Speech | 言葉の障害 | Time | 発症時刻 |
|------|------|-----|------|--------|-------|------|------|

当日、栃木テレビの取材があり、ニュース6とニュース9で放映されました。また、翌11日の下野新聞県央・宇都宮版に紹介されました。

### 4 県新人大会結果等

#### 【サッカー】

1回戦 二中0：1市貝中

#### 【陸上】

1年女子砲丸投げ (予選敗退)

#### 【ソフトテニス女子】

個人 (1回戦敗退)

#### 【剣道】

男子団体 1回戦 二中1：1陽南中(代表戦敗退)

男子個人 2名(1回戦敗退)

女子個人 (1回戦敗退)

#### 【卓球】

男子団体 二中3：0北犬飼中

二中3：1真岡東中

二中0：3古里中 (ベスト8)

男子シングルス 2名(ベスト3)

1名(2回戦敗退)

2名(1回戦敗退)

女子シングルス (2回戦敗退)

#### 【バスケットボール男子】

1回戦 二中36：29烏山中

2回戦 二中49：89鹿沼西中

#### 【バスケットボール女子】

1回戦 二中54：48今市中

2回戦 二中48：82陽東中

### 5 週案から

前期終了、3年生は、修学旅行、体育祭、部活動とそれぞれに想いを込めた活動が出来たように思う。学習に目を向けての必死さが全体的に必要なだが、目標である高校入試に向けて各人が、自己と向き合い、どれだけ出来るかが後期の課題。二中祭が終わるとすぐ面談で、進路決定であることを把握させ、授業に集中できるように指導していきたい。

合唱に対する生徒の取り組みが、去年にもまして良くなっています。1年生との練習会でも先輩として、堂々とした姿を見せることができました。生徒の大きな成長を感じた瞬間でした。

脳卒中啓発プロジェクト、自分自身正しい知識を得られる機会となりよかった。できれば他の学年にも聞く機会があっても良かったが、色々な経験ができる本校生徒はよいと思う。

#### ちょっと嬉しい話

日本では、古来より秋の名月を観賞する「お月見」の風習があります。十五夜は、元々中国で行われていた行事で旧暦8月15日の満月をめぐることとなります。一方、今月、27日の十三夜は、旧暦9月13日の月で満月二日前の月となります。この十三夜は日本独特の風習で、秋の収穫祭の一つではないかと考えられているそうです。丁度、栗が実る時期なので「栗名月」とか「豆名月」と呼び、神棚などに栗や豆をお供えするそうです。

さて、十三夜の時期になると空気も冷気を帯び、澄み渡った中でくっきり鮮明な月を見ることが出来ます。先月の仲秋の名月はあいにくの天気となり見ることが出来ませんでした。今月の十三夜の天気はどうでしょうか。二中祭の日でもあり、良い天気であることを祈りたいと思います。

やり遂げて見上げた空の十三夜